

舞台となるのは、釜石市鶴住居地区にあった釜石東中学校。
津波で甚大な被害を受けた土地であるにもかかわらず、当時学校の管理下にあった生徒たちは、全員が津波から逃げ切ることができました。
なぜ生徒たちは、自主的にかつ迅速に避難する事ができたのか？
その背景には、学校関係者による工夫に満ちた防災教育がありました。
自分事として学んでいただける工夫を、随所に入れ込んでいます。震災当時のことについてより深く学びたい、より良い組織づくり、リーダーシップについてのヒントを得たい方は、ぜひご体験ください。

① 発災時意思決定ワーク (60分)

児童生徒の避難行動は、当時「釜石の奇跡」と呼ばれ称賛されましたが、実際にはぎりぎりの判断を強いられました。様々な情報が錯綜する中、短時間で判断を下すワークを通じて、当日の出来事を体感します。



③ 防災教育改革ワーク (60分)

津波常襲地域である釜石の中学生は、当初から防災意識が高かったと思われがちですが、実は全くそんなことはありませんでした。防災教育の改革を経て、自主的に避難する中学生が育まれたのです。その裏側を紐解きます。



1

2

3

4



② 避難路追体験 (90分)

中学生として震災を経験した語り部が、当日避難した道のりをガイドします。皆さまのワーク中の判断が、実際にはどのように行われたのか。先生・生徒たちがどのようなことを感じていたか。一緒に当時を振り返ります。



④ 防災実践ワーク (60分)

参加者の皆さまには事前に内容を告知せず、実践的な防災ワークを実施します。頭で理解することと、実際に行動することの違いを体感し、「釜石の出来事」からの学びを自分事化します。



3名～24名 ※人数が24名以上の場合には、内容を調整して実施可能ですので、ご相談ください。



4時間半 ※実施時間は調整可能ですので、ご相談ください。



歩きやすい靴、動きやすい服装にて、お越しく下さい。また、冬季は防寒対策をお願いいたします。



日本語、英語



得られるもの

- メンバーに主体性を発揮させるためのマネジメント
- 非常時に適切な意思決定するための備えのあり方

- 困難な状況下でのリーダーシップの発揮の仕方
- 防災やBCPについての考え方の基礎

<実施実績>

大手損害保険 役員候補者研修、大手製菓 役員候補者研修、大手不動産 役職者研修、大手人材 役職者研修、大手通信・電機メーカー連合 地方創生イノベーション研修、大手防災機器メーカー 若手越境学習研修、大手オフィス機器メーカー SDGs研修、大手自動車メーカー グローバルリーダーシップ研修(英語実施)、日韓国際交流研修(韓国語実施)

料金・日程のアレンジ、実績の詳細情報等、お気軽にお問い合わせください!

お問い合わせ: うのすまい・トモス事務局 いのちをつなぐ未来館 ワークेशन担当: 菊池

☎ 0193-27-5666

✉ tomosu@dmo-kamaishi.com

🌐 <https://www.workcation.visitkamaishi.jp/>

